



2025 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号：4570)
本店所在地	群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者	代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先	常務取締役業務執行責任者 中 川 正 人 兼事業グループ管理本部長
電 話 番 号	0274-22-2889 (代表)
U R L	<a href="https://www.ibl-japan.co.jp">https://www.ibl-japan.co.jp</a>

## artience 株式会社との事業提携に関する基本合意書締結のお知らせ

当社とartience株式会社(代表取締役社長 高島 悟、東京都中央区、以下「artience」)は、試験研究用の素材や試薬、体外診断薬等のライフサイエンス関連事業における事業提携に関する基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

### ・業務提携の狙い

ライフサイエンス市場は、バイオ医薬品の需要拡大やパンデミックを契機とした体外診断薬の重要性の高まりにより、世界的に成長を続けております。これに伴い創薬スクリーニングや遺伝子・抗体検査等の研究用試薬も高度化が進んでおりますが、これらに用いる抗原抗体反応の精度向上や生物由来原料の品質のばらつき、調達の安定性に課題があり、近年、その改善や代替手段として化学合成素材の応用が注目されております。

当社は、創業以来40年以上にわたり研究用試薬キットや体外診断薬の事業を展開する国内トップクラスの抗体メーカーです。抗体開発に関する高い技術力を有しており、近年では海外売上高比率が4割を超えるなど、需要が高まる海外市場での展開を加速させております。

artienceは、中期経営計画でバイオ分野を次世代事業のひとつに掲げ、事業創生に取り組んでおり、コア素材である色材とポリマーを基軸に高感度イメージング用近赤外蛍光プローブや体外診断薬用機能性ポリマーなどを展開しております。特に、体外診断薬や研究用試薬に用いる合成ポリマーは、生物由来原料特有の課題である品質のばらつきが大幅に抑制できることや、抗原抗体反応の感度を向上できる効果などが認められ、市場での実績を積み重ねております。

この度の事業提携では、当社が保有する抗体、試薬キット、体外診断薬に関する技術と、artienceが有するポリマー素材および化学合成技術とを組み合わせ、抗体の品質や安定性を向上し、また、生物由来たんぱく質を必要としない、より高精度で安定した体外診断薬や検査試薬を開発することで、独創的で高品質な製品を全世界に向けて提供することを目指しております。

- ・今後の見通し

本事業提携における当社業績への影響は軽微ですが、今後、具体的な製品開発の進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

また、本事業提携の締結は中長期的な企業価値の向上に資するものと考えております。

- ・株式会社免疫生物研究所

当社は、1982年創業から生物の生命維持に不可欠である免疫機構「抗体」について研鑽し、独自の抗体開発技術により、脳・神経関連疾患、がん、自己免疫疾患、などにかかわるたんぱく質に対する抗体の開発を追求しております。当社抗体製品群は、主力のアルツハイマー関連を中心に生活習慣病関連、がん関連等1,000種類以上の抗体を保有し、国内外の大学・製薬企業等の研究機関や診断薬メーカーへ診断薬、診断薬原料、研究用試薬として供給しております。

- ・artience株式会社

artienceは、1896年に創業したファインケミカル素材の開発、提案を行う化学メーカーです（設立時名称：東洋インキ製造株式会社）。色材・機能材、ポリマー・塗加工、パッケージ、印刷・情報の4つのセグメントで事業を展開し、エネルギー、エレクトロニクス、バイオ・ヘルスケア分野などに領域を広げております。

artienceグループは、世界の人々に先端の技術で先駆の価値を届ける会社として、感性に響く価値を創り出し、心豊かな未来の実現に取り組んでおります。artienceグループの詳細につきましては、ウェブサイト（<https://www.artiencegroup.com>）をご覧ください。

以上